

野菜研究室ダイアリー

2025年11月



○一気に秋が深まりました

11月に入り、朝晩はぐっと冷え込むようになりました。ついこの間までは暑さに辟易としていましたが、秋は意外なくらいの駆け足で通り過ぎようとしています。



○試験ほ場の野菜たちは順調に育っています

私たちが試験する野菜たちは、温室やハウスで育てています。夜間は必要に応じて暖房し、生育に適した温度を確保します。天気のいい日の日中は、日光がたっぷり降り注ぎ、ハウスの中は文字どおりの温室効果でぽかぽかになります。





イチゴの栽培は場では、ミツバチがかいがいしく飛び回っています。
ミツバチが受粉させてくれるおかげで、イチゴの果実ができます。



野菜の花が真っ盛りです。左はキュウリ、右はナスの花です。



トマトは鈴なり！！

○栽培管理とデータ収集に大忙し



イチゴのマルチ張り作業の様子です。



トマトの調査です。



共同で研究を行っている企業の担当者の方
にもトマトを見てもらいました。



運搬車でゴー！



収穫も本格化しつつあります。

○農業総合試験場公開デーに出展しました



私たちの研究室で育成された
イチオシ品種の展示。



イチゴ新品種の試食アンケートを行いました。



予約制の野菜研究ミニツアーで、私たちの農場をご案内しました。



○愛知県農業試験場は…

周囲を山林に囲まれ、敷地の中にも樹木がたくさん生えています。秋が深まると、道路上に落ち葉がたくさんたまります。



ときどき職員総出で落ち葉掃きをします。



わが国では、明治時代以降の近代都市建設の過程で、あちらこちらに街路樹が植えられました。素敵な景観と涼しい木陰を提供してくれていますが、年月を経て、最近は倒木の危険が生じているケースがあるそうです。また、落ち葉などに対する苦情も増えているとのことです。

農業総合試験場の樹木も適切に管理し、守っていきたいと思います。

愛知県農業総合試験場 園芸研究部 野菜研究室